

一般社団法人日本老年歯科医学会 2021 年度第 11 回理事会 議事録

日 時：2021 年 12 月 10 日（金）14：30～17：30

Web 開催

出席者

水口俊介理事長

羽村 章、片倉 朗 各副理事長

上田貴之、池邊一典、小野高裕、山崎 裕、小笠原正、菊谷 武

戸原玄、佐藤裕二、吉田光由、松尾浩一郎、河相安彦、竹島 浩、大神浩一郎、石黒幸枝

柏崎晴彦、高橋一也、岩佐康行、平野浩彦、米山武義、服部佳功、阪口英夫、糸田昌隆、菅 武雄

大野友久、會田英紀、渡邊 裕 各理事（29 名）

山根源之、森戸光彦 各監事（2 名）

陪席者

金澤 学、竜 正大、高橋利士、堀 一浩、岡田和隆、中根綾子、高橋賢晃、吉見佳那子、太田 緑

伊藤誠康、大久保真衣、川本章代、若杉葉子、森田一彦、遠藤眞美、田中恭恵、貴島真佐子

赤松那保

各幹事（18 名）

櫻井薫、山根瞳 各名誉会員（2 名）

欠席者

弘中祥司 理事

古屋純一、佐川敬一郎、小原由紀、田村暢章、山添淳一、石川健太郎、尾崎研一郎 各幹事（7 名）

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

水口理事長より、時間を守りながら、しっかり議論を行っていただきたい旨挨拶があった。

III. 議長選出

定款に従い、水口理事長が議長として選出された。

IV. 確認事項（上田理事）

1. 定足数の確認

上田総務より、定款第 32 条、理事現在数（30 名）の 2 分の 1 以上の 28 名の出席があり、定足数を満たしていることが報告された。途中入室 1 名。

2. 2021 年度第 7～10 回理事会議事録

水口理事長より、以下の通り議事録が確定したことが報告された。

<https://www.gerodontology.jp/committee/chairman/>

V. 協議事項／重要な報告含む

1. 新規入会者の承認について（上田理事）

上田理事より、資料の通り、新入会員の説明がされ、承認された。

2. 歯科訪問診療における感染予防策の指針 2021 年度版（改訂版）について

佐藤理事より、資料の通り、指針の説明がされ、定期的な改定が必要な旨、2022年版とすることが説明された。また、トリアージという文言は削除することとなった。今後の修正は理事長一任ということで承認された。

https://docs.google.com/document/d/1u7Rsvu6Rq0HIjuvLNPWxlcFSpzTwb5mk9lugPUs1Ts/edit?usp=s_haring

関係資料: 日本学術会議「新型コロナウイルス感染症およびコロナ禍における口腔に関連した諸問題とその対応 2021」報告(案)(水口理事長)

3. 診療参加型臨床実習マニュアル「摂食嚥下障害のスクリーニング検査」について

小笠原理事より、資料の説明がされ、摂食リハビリテーション学会との調整は理事長一任とすることが承認された。

https://www.dropbox.com/sh/rg1yav2sagbxmxz/AACiDTSfb_GD7Aue5I3zbBr2a?dl=0

4. 老年歯科医学 歯科衛生士教育基準案について

小笠原理事より、資料の説明があり、日本歯科衛生士会に確認を依頼することが承認された。最終確認は理事長に一任することが合わせて承認された。

5. 倫理委員会規程の一部改正について

服部理事より、資料の通り倫理委員会規程の一部改正について説明があり、承認された。なお、倫理違反に対して対応するために、今後改正をする予定であることが付言された。

6. 倫理審査委員会規程の一部改正について

糸田理事、水口理事長、上田理事より、理審査委員会規程の一部改正について説明され、承認された。

7. 認定資格名の英語表記について

柏崎理事、松尾理事より、下記の通り認定資格名の英語表記について説明された。河相理事より日本歯科専門医機構の専門医と混同しないようにした方が良い旨の意見もあり、継続審議となった。

認定医: Board Certified Fellow of Japanese Society of Gerodontology (JSG)

専門医: Board Certified Specialist of JSG

指導医: Board Certified Supervisor of JSG

8. 第35回学術大会大会長について

水口理事長より、山崎理事とすることが提案され、承認された。2024年6月28-30日に札幌コベンションセンターで開催する予定であることが山崎理事より説明された。

9. 学術大会の会期について

水口理事長より、今後は以下のように学術大会の開催を行うことが説明され、承認された。

1日目 常任理事会・理事会

摂食機能療法専門歯科医師審査P・大会長がスケジュールした大会プログラム

※大会プログラムではないが摂食機能療法専門歯科医師指定研修

2日目 大会長がスケジュールした大会プログラム・定時社員総会(表彰式含む)・会員懇親会

3日目 大会長がスケジュールした大会プログラム・閉会式(表彰式含む)

10. 日本医学会連合 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたWG第2回アンケート

池邊理事より、資料の説明があり、意見がある場合には1週間以内に提出するよう依頼があり、最終案は理事長に一任とすることが承認することとした。

11. JSG&TAGD Academic Exchange Program on the Sistership

水口理事長より、TAGDとの協定の契約期間がきれるために、継続の契約を行うことが資料の通り説明され、承認された。なお、TAGDからの無料学会参加に関しては、個別に大会校に連絡することとした。

12. 指導医および専門医の新規認定について

柏崎理事より、資料の通り説明があり、認定が承認された。

VI. 報告事項

1. 会務報告

水口理事長より、日本老年医学会、日本サルコペニアフレイル学会と共同でオールフレイルのステートメントを出す旨が報告された。

2. 総務報告（上田理事）

1) 次期役員および代議員選挙について

上田理事より、選挙管理委員会が開催され、資料のとおり12月31日付で公告を学会誌とHPに出す旨が報告された。ここで選出された代議員から2回連続で総会を欠席したものは次回の代議員に立候補できなくなる旨、投票はオンラインで行われる旨、代議員の自動立候補制度はない旨が説明された。

2) 委員会委員等の変更について

資料の通り、委員の変更が報告された。

3) 今後の会議予定

資料の通り、会議日程が報告された。

4) 会員状況

資料の通り、会員数が報告された。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告

池邊理事より、資料の通り報告があった。

2) 口腔機能低下症とオーラルフレイルに関するワークショップ 準備状況

池邊理事より、2021年12月26日に開催するWSに関して資料の通り説明された。WSの事前学習ビデオは非公開とすることも報告された。

3) 第32回学術大会開催報告

河相理事（大会長）より、資料の通り収支の報告が行われた。

4) 第33回学術大会準備状況

小野理事（大会長）より、資料の通りプログラム案が報告された。12月1日から演題募集を行なっている旨、ポスターを発送した旨、オンサイトで実施を準備している旨が報告された。佐藤理事より、合同大会の時には本学会員以外の会員の無料登録についても検討してほしいと旨が意見された。

5) 第34回学術大会準備状況

菊谷理事（大会長）より、2023年6月15-18日にパシフィコ横浜にて開催されることが報告された。

6) 令和3年度老人保健健康増進等事業 進捗状況

渡邊理事より、資料の通り調査事業を行っている旨が説明された。

7) 令和3・4年度 日本歯科医学会プロジェクト研究 中間報告

大野理事より、資料の通り、日本歯科医学会プロジェクト研究の中間報告がなされた。

4. 編集報告

小野理事より、資料の通り以下の活動報告が行われた。

1) 「高齢者」に関する英語表記について学会誌にステートメントを掲載する。

2) 1つの論文取り下げ依頼を受理し、論文を撤回した。

5. 財務報告

山崎理事より、以下の報告がされた。

1) 月次報告について、資料の通り報告された。

2) 会費未納者について、資料の通り説明があり、2年間未納は退会となる旨説明された。

3) 来年度予算案作成に向けて、多額の予算が必要な事業に関しては、3月の理事会までに検討するように要請があった。

6. 各種委員会 2021年度活動実施状況

1) 教育委員会

小笠原理事より、資料の通り活動が報告された。

2) 社会保険委員会

菊谷理事より、資料の通り活動が報告された。

3) ガイドライン委員会

戸原理事より、資料の通り活動が報告された。

4) 在宅歯科医療委員会

佐藤理事より、資料の通り活動が報告された。

5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会

吉田理事より、資料の通り活動が報告された。認定審査方法の発表方法が変更され、動画での発表も可能になることが説明された。水口理事長より講習会の確認のために試験としては、合格者が受験者に対して少なく、研修の方法を検討するように依頼があった。

6) 国際渉外委員会

松尾理事より、資料の通り活動が報告された。

7) 広報委員会

河相理事より、資料の通り活動が報告された。

8) 研修委員会

竹島理事より、資料の通り活動が報告された。

9) 学術用語委員会

大神理事より、資料の通り活動が報告された。

10) 歯科衛生士関連委員会

石黒理事より、資料の通り活動が報告された。

11) 認定制度委員会

柏崎理事より、資料の通り活動が報告された。学術大会時の研修単位および参加記録の収集方法はQRコードを利用したものになることが説明された。

12) 専門医試験問題委員会

高橋理事より、資料の通り活動が報告された。

13) 多職種連携委員会

岩佐理事より、資料の通り活動が報告された。

14) 支部・地域保健医療福祉委員会

平野理事より、資料の通り活動が報告された。

15) 学会間連携委員会

上田理事より、報告事項はない旨、説明された。

16) 表彰委員会

米山理事より、資料の通り活動が報告された。

17) 規程委員会

阪口理事より、資料の通り活動が報告された。

18) 倫理委員会

服部理事より、資料の通り活動が報告された。また、日本老年歯科医学誌に掲載された論文の剽窃に対する対応が、資料の通り報告された。

19) 倫理審査委員会

糸田理事より、資料の通り活動が報告された。

20) 利益相反委員会

菅理事より、資料の通り活動が報告された。

21) 特任（病院歯科）委員会

大野理事り、資料の通り活動が報告された。

22) 新規委員会の設置について

大野理事りより、病院歯科委員会の常設化の提案があり、水口理事長より次回の理事会までに検討することが説明された。

平野理事りより認知症関連委員会の設置の提案が資料の通りなされ、水口理事長より、次回の理事会までに検討することが説明され、平野理事りに対しより詳細な委員会の業務案を記載し、提出いただくように依頼した。

7. 日本歯科医学会報告

水口理事長より、プロジェクト研究のテーマ募集が行われることが報告された。

8. 日本歯科医学会連合報告

水口理事長より、年度末の研究助成の募集が行われることが報告された。

9. 日本歯学系学会協議会報告

羽村副理事長より、第24回日本歯科医学会学術大会では、日本歯科医師会よりも、学会からの参加者が多かったことの報告とそれに対する謝意が報告された。

10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告

佐藤理事より、歯保連試案が発行されたことが報告された。

11. 日本歯科専門医機構

水口理事長、総合歯科専門医は研修プログラムの案が示された段階であることが報告された。名称は間もなく決まる見通しであることが報告された。

12. 日本老年学会報告

水口理事長より、1月に理事会開催予定である旨が報告された。

1) IAGG-AOR 2023 上田理事より、報告がないことが報告された。

2) 将来計画委員会 上田理事より、議事録記載の通りである旨が報告された。

3) 老年学会 高齢者に関する定義検討ワーキンググループの報告 平野理事より、議事録を後日配布する旨が説明された。

13. その他

1) 厚生労働省 歯科医師国家試験出題基準改定案に関する意見募集

上田理事より、提出案が示され、確認された。また、羽村理事より、教育委員会にて次の国家試験出題基準の変更への対応の準備を行うように依頼があった。

2) 日本歯科医師会「地域包括ケア及び多職種に関する研修体制の整備及び人材育成」検討チームの活動内容の報告

岩佐理事より、総合歯科専門医への歯科医師会の意見等が含まれた資料が報告された。

3) 日本補綴歯科学会 本会認定資格者を対象とした「認知症と口腔機能の関連についてのアンケート」への協力依頼

水口理事より、回答率が5割と低いため、必ずアンケートに回答していただきたい旨の依頼があった。

VII. 閉会の辞

片倉副理事長より、スムーズな会議と活発な活動に対する謝意と、来年以降の活動への激励の意とともに閉会の辞が述べられた。